

平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	救急医療従事者の育成・確保		担当部局庁	医政局		作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成1年度～		担当課室	指導課 救急・周産期医療等対策室		室長:田中 剛			
会計区分	一般会計		政策・施策名	I-1-1 日常生活圏の中で良質かつ適切な医療が効果的に提供できる体制を整備すること					
根拠法令(具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	救急医療対策事業実施要綱					
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	救急医療を担う人材の養成・確保及び救急医療を担う医師、看護師救急救命士等の知識・技術の向上を図る								
事業概要(5行程度以内。別添可)	後期臨床研修医等を対象に救急医療の技術向上等を目的とした研修 救急医療を担う医師、看護師及び救急救命士の知識・技術の向上を図るための研修 保健師勤務保健師等を対象に、救急蘇生法を教える指導者の養成を図るための講習会 救急救命士養成所の専任教員の養成確保を図るため、専任教員希望者を対象に救急救命士の養成所専任教員講習会 病院前救護隊絵師の充実を図るため、救急救命士の行う救急処置を検証する医師及び救急救命士に救命処置の指示を出す医師を養成するための研修								
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他								
予算額・執行額(単位:百万円)			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
	予算の状況	当初予算	92	93	93	55	17		
		補正予算							
		繰越し等							
	計		92	93	93	55	17		
	執行額		126	161	252				
執行率(%)		137.0%	173.1%	271.0%					
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値(年度)	
	救急医療業務実地修練受講状況			成果実績	人	324	330	335	-
				達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
	救急医療業務実地修練等研修の実施回数			活動実績(当初見込み)	回	7	7	7	-
						( - )	( - )	( - )	
単位当たりコスト	12,947千円		算出根拠	平成25年度 救急医療業務実地修練等経費の予算額					
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由					
	救急医療業務実地修練等経費	13	13	救急医療トレーニングセンター運営事業の廃止					
	救急医療トレーニングセンター運営事業	39	0						
	救急医療推進費	4	4						
計	55	17							

事業所管部局による点検			
	項目	評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	救急医療は、国民が安心して暮らしていく上で、欠かすことのできないものである。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	救急医療の充実を図っていくためにも、引き続き国の施策として実施すべき事業である。
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○	研修事業については、研修定員を上回る応募がある状況である。また、救急医療を担う人材の養成・確保及び救急医療を担う医師、看護師救急救命士等の知識・技術の向上を図る事は重要であることから今後も継続して事業を進めていく必要がある。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	△	委託費については、公共調達委員会の審査を経て、企画競争で委託先を決定している。
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	補助金については、国庫補助率は1/2となっており、受益者も応分の負担をしている。
	単位当たりコストの水準は妥当か。	○	当該事業の実施に必要な額の設定を行っている。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	補助金については、医療施設運営費補助金交付要綱に記載する当該補助事業の対象経費を交付額の算定方法に従い、算出している。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	-
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-	-
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	-
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	-
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名
	-	-	-
点検結果	平成25年度予算において、救急医療トレーニングセンター運営事業の積算の見直しを行った。		
	外部有識者の所見		
点検対象外			
行政事業レビュー推進チームの所見			
事業内容の改善	救急医療従事者の育成・確保については、事後の検証・効果を踏まえた見直しの観点から、活動実績、事業効果を検証し予算を縮減すべき。		
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況			
縮減	一部の事業を廃止した		

備考

○事業仕分け第1弾 平成21年11月12日

事業番号:2-9「医師確保、救急・周産期対策の補助金等(一部モデル事業)」

評価結果:予算要求の縮減(半額)

とりまとめコメント:「要求どおり」は、0名である。その背景としては、昨日議論した診療報酬の見直しと組み合わせた形で本補助金を有効なものにするというのが、本WGの思いだと考える。したがって、このWGの判断としては、「予算半額」を結論としたい。今後の診療報酬見直しの経緯を見ながら、真に必要なならば平成22年度補正予算での対応もありえると考え。平成22年度当初予算についても、真に必要な事項に絞ることとし、支給する方法、内容、支給先についても厚生労働省の政務三役としっかり相談してもらいたい。

○事業仕分け第3弾 平成22年11月16日

事業番号A-9「医師確保、救急・周産期対策の補助金等」

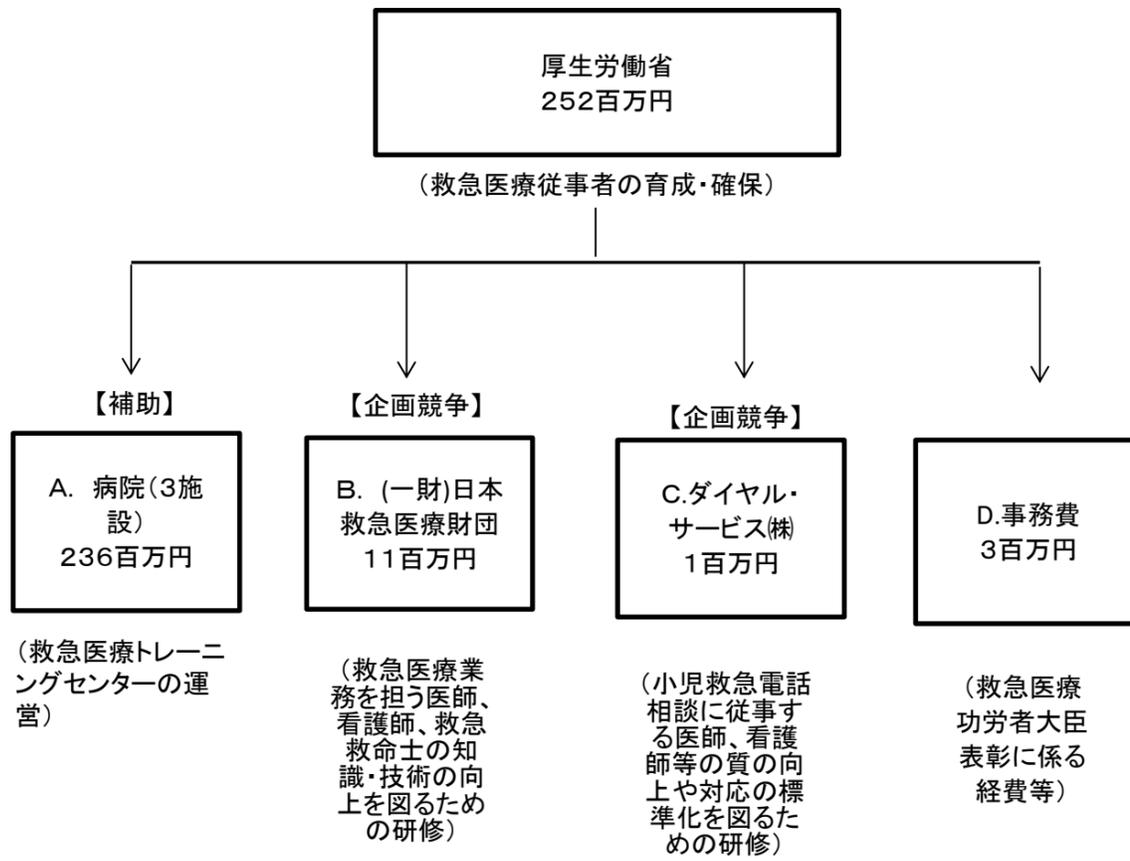
評価結果:見直しを行う

とりまとめコメント:診療報酬改定で対応可能な事業の廃止、医師不足対策への実効性が定かではない事業の廃止、不用額の確実な反映をさらにしっかりとやっていただきたいということが結論。医師確保、救急・周産期対策そのものについては大変重要であることは全員共通しているが、今の補助金の仕組みそのものが本当に効果的なやり方なのか、議論の中では包括的に支払うとか、必要なものについては補助率を高めるとかいろいろな議論があったので、減らす方向での対応をしっかりとやっていただくとともに、より使い勝手がよく、より効果的なやり方を今日の議論を踏まえて検討していただくということを結果に付随して申し上げ、全体として結論としたい。

関連する過去のレビューシートの事業番号

	平成22年	4	平成23年	0023	平成24年	0023
--	-------	---	-------	------	-------	------

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位：百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」に  
 おいてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

A.東京医科歯科大学			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	職員給料等	22			
備品購入費	教育用備品購入費	13			
旅費	海外留学費等	4			
計		39	計		0
B.(一財)日本救急医療財団			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
諸謝金	講師謝金等	4			
旅費	講師旅費等	1			
需用費	消耗品費等	3			
借料及び損料	会場借料	3			
計		11	計		0
C.ダイヤル・サービス(株)			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	賃金	0			
諸謝金	講師謝金等	0			
印刷製本費	研修テキスト製本費	0			
借料及び損料	会場借料	0			
その他	消耗品費等	0			
計		1	計		0
D.(株)武広			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
需用費	平成24年度「救急の日」及び「救急医療週間」ポスター関係費	1.3			
計		1.3	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東京医科歯科大学	救急医療トレーニングセンターの運営	39		
2	東京女子医科大学東医療センター	救急医療トレーニングセンターの運営	39		
3	(独)国立病院機構熊本医療センター	救急医療トレーニングセンターの運営	39		
4	熊本赤十字病院	救急医療トレーニングセンターの運営	39		
5	(独)国立病院機構東京医療センター	救急医療トレーニングセンターの運営	32		
6	都立多摩総合医療センター	救急医療トレーニングセンターの運営	18		
7	(独)国立病院機構災害医療センター	救急医療トレーニングセンターの運営	11		
8	(独)国立病院機構横浜医療センター	救急医療トレーニングセンターの運営	9		
9	都立墨東病院	救急医療トレーニングセンターの運営	9		
10	東邦大学医療センター大森病院	救急医療トレーニングセンターの運営	1		

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(一財)日本救急医療財団	救急医療業務を担う医師、看護師、救急救命士の知識・技術の向上を図るための研修	11		

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	ダイヤル・サービス(株)	小児救急電話相談に従事する医師、看護師等の質の向上や対応の標準化を図るための研修	1		

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)武広	平成24年度「救急の日」及び「救急医療週間」ポスターデザイン・印刷・発送	1.3	随意契約	
2	(株)天賞堂	記念盾購入	1.2	随意契約	
3	(株)オオニシ	写真代	0.2	随意契約	
4	個人(複数)	研修等職員旅費	0.2		
5	大和総合印刷(株)	救急医療功労者厚生労働大臣表彰式の表彰状	0.1	随意契約	